



ハムバッキングを3基搭載、レス・ポール・シリーズの最上機種である証だ。

1957 Les Paul Custom Black Beauty 3 Pickups

54年からのP-90&アルニコVの仕様へ代わり、ハムバッカーのレス・ポール・カスタムが登場したのは57年。当時のカスタムは原則的にはこのような3ピックアップ仕様となっていた。ピックアップも3ピックアップに合わせたシェイプとなっている。ブラックのカラーリングにゴールド・パーツを配した伝統のロックン・ロール・ギターだ。

SPEC ●ボディ：マホガニー ●ネック：マホガニー ●指板：エボニー ●ピックアップ：57クラシック×3 ●コントロール：1ボリューム、2トーン、3ウェイPUセレクター・スイッチ ●カラー：エボニー



68年に登場したリイシュー・モデルと同様のソンプレロ・タイプのノブを採用。

1968 Les Paul Custom with '57 Classic (YCS)

オリジナル・シェイプのレス・ポールは60年に生産完了するが、市場での人気復活に合わせて68年にリイシュー。そのリイシュー・モデルを忠実に復刻した1本。オリジナルではオール・マホガニーだったボディが、メイプル/マホガニーに変更となり、コントロール・ノブにはソンプレロ・タイプ（アンプ型）が採用されている。

SPEC ●ボディ：メイプル（トップ）、マホガニー（バック） ●ネック：マホガニー ●指板：エボニー ●ピックアップ：57クラシック（フロント/リア） ●コントロール：2ボリューム、2トーン、3ウェイPUセレクター・スイッチ ●カラー：エボニー、アンティーク・アイボリー



アンティーク・アイボリーと呼ばれるホワイトカラー。



オリジナル同様のプラスチック・ノブの3連コントロール・ベグを採用。

1957 Les Paul Junior Single Cutaway

ソリッド・マホガニーのボディに、P-90シングルコイル・ピックアップ一発というシンプルスタイルながら、長きにわたり強い人気を保ち続けているジュニア。当時のスベックそのままに忠実に復刻されてシーンに届ってきた。ちなみにオリジナルのシングル・カットウェイ・モデルは55~57年までの生産であった。

SPEC ●ボディ：マホガニー ●ネック：マホガニー ●指板：ローズウッド ●ピックアップ：P-90 ●コントロール：1ボリューム、1トーン ●カラー：ヴィンテージ・サンバースト、フェイデッド・チェリー、TVイエロー

Les Paul Junior Series

レス・ポール・ファミリーの中で最も手頃なモデルとして多くのギタリストから愛されてきたジュニア。シングル・カットウェイ/ダブル・カットウェイの両スタイルで、ヒストリック・コレクションに登場。

ネック・ジョイント部、ダブル・カットウェイのストラップ・ピンはこの位置に付けられている。



1957 Les Paul Junior Double Cutaway

こちらは58~61年の初めまで生産されていたダブル・カットウェイのリイシュー。チューナーのプラスチック・ノブ、パー・ブリッジなどのパーツも、オリジナルと同様のスタイルを採用している。

SPEC ●ボディ：マホガニー ●ネック：マホガニー ●指板：ローズウッド ●ピックアップ：P-90 ●コントロール：1ボリューム、1トーン ●カラー：TVイエロー、フェイデッド・チェリー

